

報道ご関係者各位
2011年4月25日

マニユライフ生命、東日本大震災 被災地の子ども達を東北楽天ゴールデンイーグルスの試合に招待 東北楽天ゴールデンイーグルス ホームゲーム観戦に200名様を招待

マニユライフ生命保険株式会社(社長兼 CEO: クレイグ・ブロムリー、本社: 東京都調布市)は、東日本大震災被災地復興支援活動の一環として、被災地の避難所で生活しておられる子ども達及び保護者の方 合計200名様を、5月8日(日)に行われる日本製紙クリネックススタジアム宮城での東北楽天ゴールデンイーグルス対埼玉西武ライオンズの試合にご招待いたします。

マニユライフ生命は、野球を通して社会貢献・社会奉仕するというプロ野球の理念と、地域に密着してその理念を成し遂げようとするパ・リーグ6球団の姿勢に共感し、2010年度に引き続き2011年度パシフィックリーグ レギュラーシーズンおよび2011年パシフィックリーグクライマックスシリーズに協賛しております。この度の招待はこの協賛の関係により、パ・リーグのご協力をいただき実現することとなりました。

マニユライフ生命の職員が仙台市等の避難所を訪問し、ご招待させていただき子ども達と保護者の方に観戦チケットと応援グッズを事前に配布させていただき予定です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、グループ全体で少なくとも100万カナダドル(約8700万円程度)を東日本大震災への義援金として拠出することを既に決定しております。去る4月18日に開催されましたボストンマラソンにおいても、主たるスポンサーとして地元赤十字と共に震災復興の基金募集活動を行っております。また、マニユライフ生命は、被災地を支援したいという強い思いから、4月1日～6月27日までの間にご契約頂いた新契約1件につき200円を、東日本大震災の被災地に義援金として寄付する活動等を進めております。当社は、今後も支援活動に積極的に取り組み、被災地の一日も早い復興を応援してまいります。

マニユライフについて

マニユライフ生命保険株式会社(「マニユライフ生命」)は、マニユライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニユライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界22カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニユライフは120年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニユライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2010年12月31日現在4,750億カナダドル(4,780億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニユライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニユライフ・ファイナンシャル社—は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ (www.manulife.com) をご覧ください。マニユライフ生命のホームページは次の通りです。 (www.manulife.co.jp)